## 令和6年9月 地震・火山月報(防災編)

## 表 令和6年9月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報	発表した火山現象に関する		概要
桜島	及び予報の状況 火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第 72~80 号	日、16日、20日、23日、 27日、30日	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス(二酸化硫黄)放出量は、2200 [t/日](18日)で多い。火山性地震、微動の発生状況。 GNSS 連続観測では、桜島島内の基線で1月頃から山体収縮とみられるわずかな縮みが認められる。姶良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線では、長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。姶良カルデラ地下深部にマグマが蓄積した状態で、火山ガス放出量も概ね多いことから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられる。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から 1 時間以内に予想される、 降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)		噴火発生から6時間先まで(1時間ごと) に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 火口周辺規制)	解説情報 第 75~83 号	2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、 27日、30日 16時00分	火山性地震は古岳火口付近浅部では概ね多く、新岳付近では少ない状態。 新岳火口で白色噴煙を観測。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は少ない状態。 GNSS 観測で、2023 年 11 月頃にかけてみられた古岳付近の膨張を示す変動で膨張した状態が維持されている。 火口付近浅部の地震活動はやや活発で、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量や古岳の地熱活動は 2023 年 6 月からの活動以前の状態より高まった状態で推移。新岳火口及び古岳火口の周辺において噴火が発生する可能性がある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第 71~79 号	日、16日、20日、23日、 27日、30日	火山性地震は、4月中旬以降増加した状態。3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は、4月下旬から鈍化し5月以降は停滞。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は500、400[t/日](2、10日)、2023年3月以前に比べて多い状態。
須美寿島	噴火警報 (周辺海域警戒)	噴火警報(周辺海域)	19日 11時00分	海上保安庁による 18 日の上空からの観測で変色水が確認され、海底噴火発生の可能性がある。
		火山現象に関す る海上警報	19日 11時00分	海底噴火による影響が及ぶおそれ。周辺 海域警戒。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第 36~41 号	2日、9日、16日、23 日、30日	硫黄岳火口で1日に噴火が発生、噴煙は 火口縁上1000m。大きな噴石の飛散は観 測されず。噴火の観測は2020年10月6 日以来。 火山性地震は少ない状態。火山性微動は なし。 GNSS 連続観測では、島内の一部の基線で 2023年10月頃から縮みの変化がみられ、 5月頃から停滞。同基線では2015年頃から長期的な縮みの傾向がみられる。 噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。

## 令和6年9月 地震・火山月報(防災編)

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第 42~46 号	日、30 日	噴火活動が継続。爆発、大きな噴石の飛散、噴煙、降灰、火映の状況。火山性地震、 微動の発生状況。GNSSでは、島の西側深 部におけるマグマの蓄積量の増加を示す 変動は認められない。
		降灰予報(速報)	3日19時13分、4日00時02分、5日10時37分、16時45分、7日11時40分、15時08分、30日04時51分、07時00分	噴火発生から 1 時間以内に予想される、 降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	3日19時23分、4日00時13分、5日10時51分、16時57分、7日11時50分、15時18分、30日05時05分、07時14分	
岩手山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報(臨時)第5~8号	目	5日と11日の現地調査で、大地獄谷付近及び黒倉山周辺の噴気及び地熱域の状況に特段の変化はない。 傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測では、2月頃から山体膨張を示す地殻変動が継続。黒倉山付近で微小な火山性地震が増減を繰り返し継続。火山活動が高まっていると考えられる。 今後の火山活動の推移に注意。
草津白根山 (白根山(湯釜 付近))	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報第1号	9日 14時00分	白根山(湯釜付近)で、5月下旬以降、火山性地震がやや増加。水釜北東の多成分火山ガス観測で、6月頃から噴気の化学成分比に活発化を示す変化が認められる。傾斜計の観測でも、6月頃から湯釜付近の地下浅部を膨張源とする緩やかな変動が始まっている可能性。白根山(湯釜付近)では、今後火山活動が高まる可能性がある。
霧島山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報第4号	6日 16時10分	6日、韓国岳北東側の浅いところで地震が発生し、宮崎県小林市及び高原町で震度2を観測。主に韓国岳付近、韓国岳北東側及び大浪池付近では、8月8日以降地震が増加していたが、その後は増減を繰り返しながらも徐々に減少。この地震による火山活動の変化は認められない。

- 注1)表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。
- 注2) 浅間山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日 02 時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。